

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ごころにエール		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた達成目標の評価や活動内容などを細かく記録している	運営システムHUGを導入し、記録と写真を添付し保護者の方と情報共有している	活動を小集団に分け、より手厚く支援する
2	天井に取り付けられている雲梯を使用し、感覚統合プログラムを積極的に行っている	5領域に基づいたアセスメントを行い、5領域を網羅した計画を作成した上で支援を行っている	様々な活動内容を考え、計画を作成する
3	活動の他にコグトレやビジョントレーニングの療育を行っている	ビジョントレーニングの資格保持職員がいるコグトレも行うことでビジョントレーニングの効果に違いが出てくる	研修などを通してより質の高い療育をする

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり、イベントへの参加	去年同様感染症流行により、計画が中止になってしまうことがあり実践例が少ない	今後も感染症流行時期を避け、地域とのつながりやイベントへの参加を検討し交流を持つ
2	同法人系列の介護施設や保育園との交流	去年同様感染症流行により、計画が中止になってしまうことがあり実践例が少ない	今後も感染症流行時期を避け、夏祭り、お餅つき等のイベントを開催し交流を持つ
3	保護者同士の交流機会が少ない (父母の会や保護者会、兄弟向けイベント)	研修会や保護者会・兄弟が参加できるイベントなどの機会が少ない	外部講師を招き、家族支援に関する研修の開催保護者や兄弟が参加できるようなイベントの開催